文化・スポーツ基本構想
（案）

令和７年８月15日現在

Inclusive City EDOGAWA

ともに、生きる。
江戸川区

― 構　成 ―

1	策定の趣旨	P 2
2	本構想における文化･スポーツ	P 3
3	本構想の位置付け	P 4
4	将来像	P 5
5	基本理念	P 6
6	文化･スポーツに関する状況	P 7
7	課題	P 11
8	基本方針と主な取り組み	P 12
9	施設整備の考え方	P 17

１　策定の趣旨

江戸川区（以下、「本区」とする）は、人間性豊かな地域社会の形成と区民生活の充実及び向上を目的とした文化振興条例を制定し、総合的かつ効果的な施策を展開してきました。本条例においては、文化活動にスポーツも包含するものとされ、具体的な施策として、文化・スポーツ団体への支援、施設の整備、人材の育成、各種教室事業やイベントの開催などを行い、文化の一層の振興を図ってきました。

このような中、本区では令和３年７月、「ともに生きるまちを目指す条例」を策定し、2100年に向かってだれもが安心して自分らしく暮らせるまちの実現を新たな目標に掲げました。また、この条例に基づく長期構想である「2100年の江戸川区」の中では、「スポーツだって、文化活動だって、自分のやりたいことには、だれでも、なんでもチャレンジできる」という本区の未来の姿を掲げています。このことを実現するため、すべての区民を対象とした文化・スポーツ振興に関する基本的な考え方をまとめ、本構想を策定しました。

2　本構想における文化・スポーツ

本構想における文化・スポーツの範囲は以下のとおりです。

文　化

本構想における文化とは、文化芸術基本法に定める次表の範囲に加え、読書（図書館を含む）も対象とします。

芸術	文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術
メディア芸術	映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術
伝統芸能	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊その他の我が国古来の伝統的な芸能
芸能	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能
生活文化	茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化、国民娯楽（囲碁、将棋その他の国民的娯楽）並びに出版物及びレコード等
文化財	有形及び無形の文化並びにその保存技術
地域における文化芸術	各地域における文化芸術の公演、展示、芸術祭、地域固有の伝統芸能及び民俗芸能

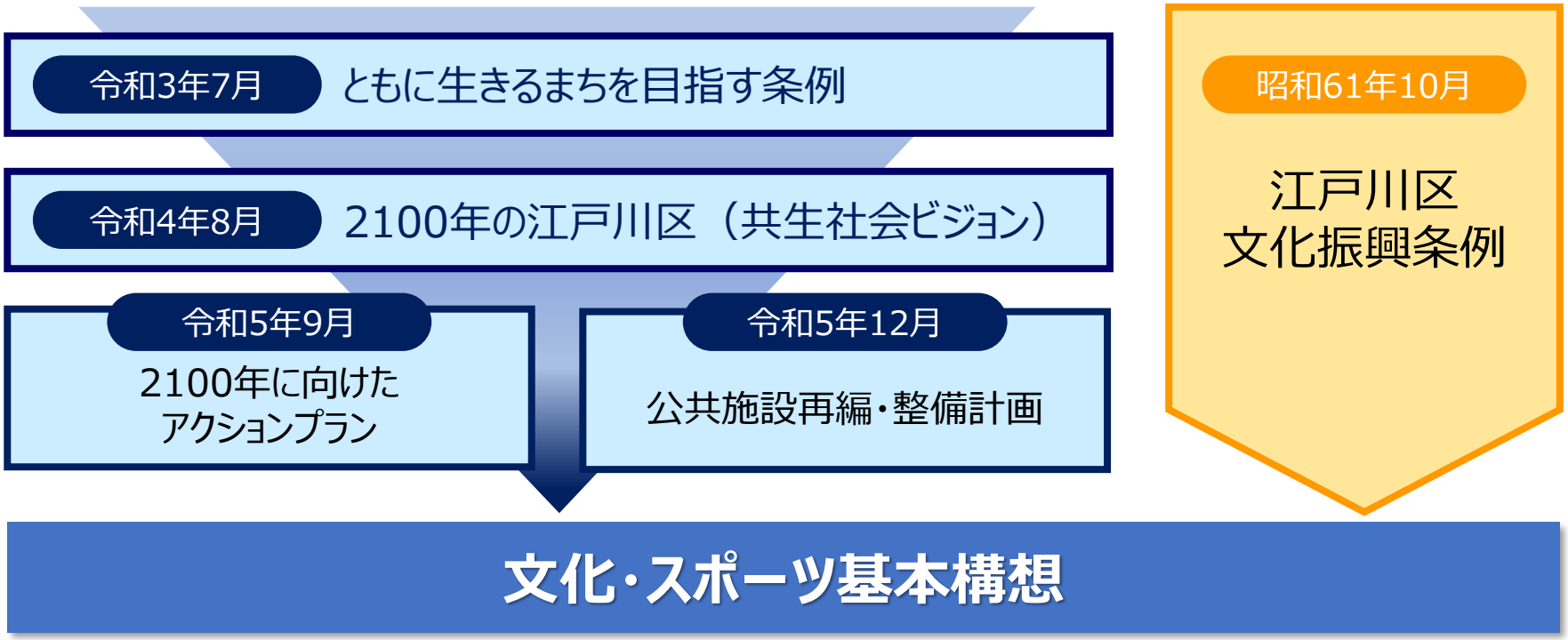
スポーツ

本構想におけるスポーツとは、スポーツ基本法に定める「身体を動かすことを通じて行う文化活動」を定義とし、次表の範囲とします。

競技スポーツ	各種の全国・国際競技団体により統括される正式競技
生涯スポーツ・レクリエーション	年齢・性別を問わず、日常生活の中で楽しめるスポーツ活動
学校スポーツ	学校教育の一環として行われる体育・部活動・運動会など
障害者スポーツ（パラスポーツ）	障害のある人が行う各種スポーツ活動
伝統的・地域的スポーツ	日本古来または地域特有の文化的スポーツ・身体活動
余暇・健康増進型スポーツ	健康維持・増進を目的とする日常的な身体活動

3　本構想の位置付け

本構想は、「ともに生きるまちを目指す条例」に基づき策定した長期構想である、「2100年の江戸川区」に基づいています。また、その実施計画にあたる「2100年に向けたアクションプラン」、2100年に向けた公共施設のあり方を示した「公共施設再編・整備計画」との整合を図ります。



４　将来像

スポーツだって、文化活動だって、

自分のやりたいことには、

だれでも、

なんでもチャレンジできる。

※2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）より抜粋

ともに、生きる。
江戸川区

5　基本理念

文化とスポーツは、「豊かな人生を歩む活力」となる、だれにとっても不可欠なものです。人生100年時代を迎えた今、この活力を育むことがより重要であり、文化・スポーツ振興は、「生きる支援」にもなるのです。一人ひとりがいつまでも、生き生きとした暮らしを続けていくために必要となる３要素が、「食事」「運動」「生きがい」だと考えています。
このうち、「運動」と「生きがい」をカバーできるのが、「**文化** と **スポーツ**」です。

文化やスポーツに取り組むことは、心身の健康に寄与することに加え、社会的なつながりも促進されます。異なる価値観を持つ人々が集うことで、地域の多様性もすすんでいきます。

本区の目指す「ともに生きるまち」の実現に向けて、だれもが気軽に文化とスポーツに親しめる環境づくりを、より一層すすめていきます。

ともに、生きる。
江戸川区

6　文化・スポーツに関する状況①　＜区民＞

文化芸術活動・鑑賞率　64.1%

※「あなたはこの１年間でどのような文化芸術活動・鑑賞をしましたか」という問いに対して、何かしらの活動・鑑賞をした人の割合

【活動・鑑賞しなかった理由】

時間に余裕がない	49.9%
魅力的な活動、イベントが少ない	20.7%
活動に関する情報が少ない	20.6%
一緒に活動する仲間がみつからない	17.5%
施設や教室が近くにない	11.6%

※出典：令和５年度江戸川区区民世論調査

図書館来館者数　3,211,150人

※令和６年度に図書館に来館した人の延べ人数

スポーツ実施率　43.0%

※「あなたはこの１年間に運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか」という問いに対して、週１回以上行っている人の割合

※出典：令和6年度江戸川区区民世論調査

スポーツ実施率（障害者）　27.9%

※「あなたは過去１年間、どの程度運動（スポーツ）を行っていますか」という問いに対して、 週１回以上行っている人の割合

【スポーツに対する意識】

満足している	14.2%
もっと行いたい	13.0%
行いたいと思うが、できない	43.8%

※出典：第７期江戸川区障害福祉計画・第３期江戸川区障害児福祉計画策定のための基礎調査（令和５年３月）

ともに、生きる。
江戸川区

6　文化・スポーツに関する状況②　＜団体＞

本区の文化・スポーツ振興に関わる主な団体は、以下のとおりです。
長きにわたって、本区の文化・スポーツ活動をささえてきた反面、
多くの団体で後継者不足や高齢化といった状況も見受けられます。

文化

1.　（一社）江戸川区文化芸術協会　加盟33団体
2. 江戸川フィルハーモニーオーケストラ　71人
3. 文化サークル団体　1153団体
4. 文化活動団体（区後援団体）　65団体
5. 文化活動支援ボランティア　76団体

スポーツ

1.　（一社）江戸川区スポーツ協会　加盟44団体
2. 江戸川区スポーツ推進委員会　54人（定数65人）
3. 江戸川区地域スポーツ推進員　132人
4. えどがわパラスポアンバサダー　249人

ともに、生きる。
江戸川区

6　文化・スポーツに関する状況③　＜催し・大会等＞

本区の文化・スポーツ振興に関する主な催し・大会等は、以下のとおりです。
長きにわたり本区の文化・スポーツ振興に寄与してきましたが、担い手や会場の不足などにより、新たな展開が生まれにくい状況になっています。

文　化

- 江戸川区文化祭
- 江戸川区音楽祭
- 各館サークル発表会
- ひらい圓蔵亭（落語会）
- 文化施設におけるコンサート等
- 江戸川フィルハーモニーオーケストラ演奏会
- 各種文化団体の後援事業

スポーツ

- 江戸川区総合体育祭
- 江戸川マラソン大会
- ボッチャ交流大会
- 旧中川ボートフェスティバル
- えどがわ区民レガッタ
- 江戸川区民ラジオ体操大会
- ウオーキングフェスタえどがわ

６　文化・スポーツに関する状況④　＜施設＞

令和４年度に文化施設・スポーツ施設需要調査を行い、施設の状況等についてまとめました。

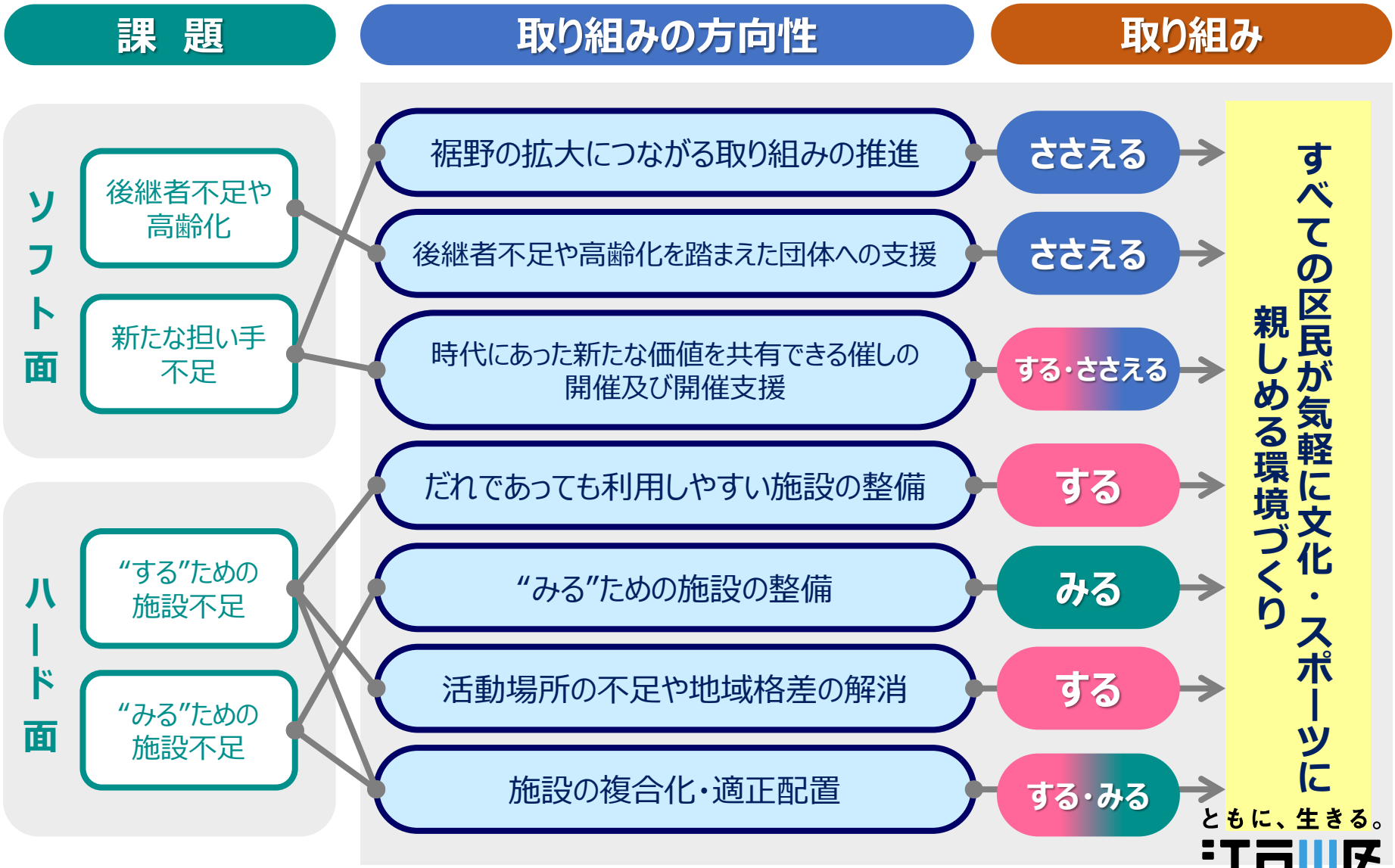
文化施設

- 将来的にも展示ホール・展示室のニーズは高いと考えられる。
- ホールは、地域によって利用率にばらつきがある。
- ホールの再編・再整備の際には、多目的に利用できるホールを検討していく。
- 図書館は、学校図書館との連携等、サービスの維持を検討する。また、複合施設との親和性は高いと考えられる。

スポーツ施設

- 日常利用のための施設の適正な配置が必要である。
- 屋内アリーナや屋外競技場は、改修や改築などの際には、“みる” スポーツにも対応した施設としていくことも考えられる。
- 屋内アリーナにプロスポーツを誘致するには、座席数の増席が必要になる。
- パラスポーツに対応した拠点的施設の整備を検討する必要がある。
- アイススケートリンクは通年化し、区内外から人を呼び込む施設とすることも考えられる。

7　課題

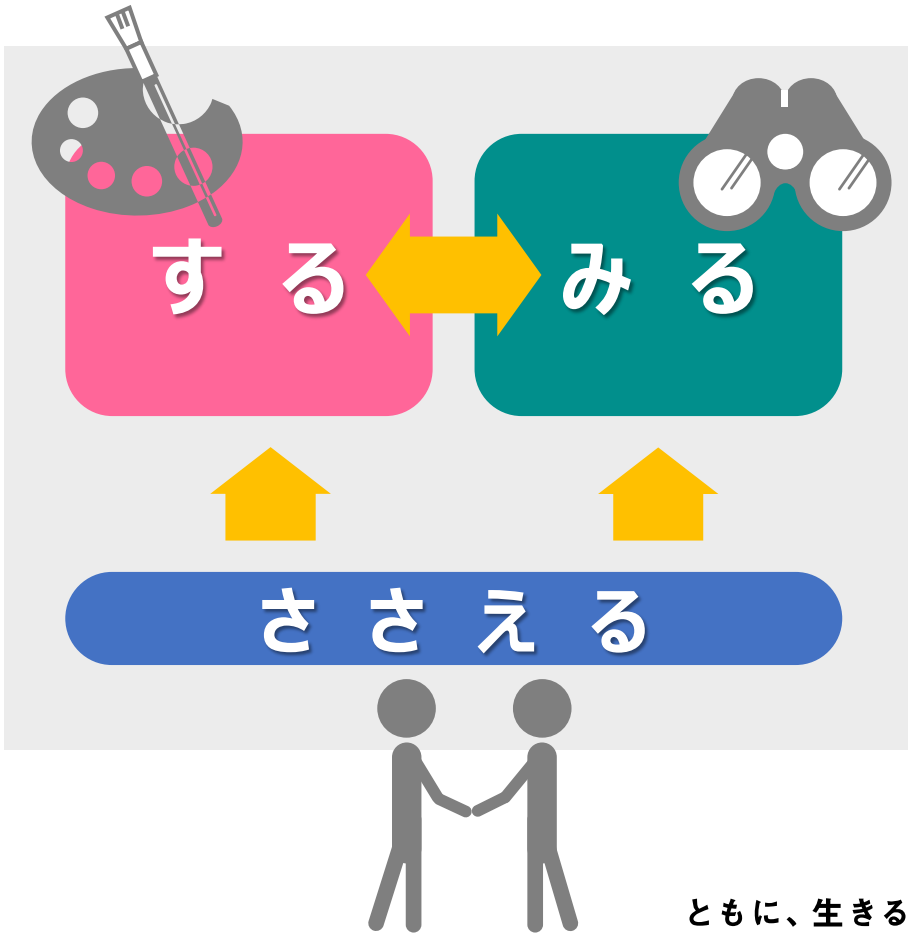

課　題
取り組みの方向性
取り組み
ソフト面
後継者不足や高齢化
新たな担い手不足
ハード面
“する”ための施設不足
“みる”ための施設不足
裾野の拡大につながる取り組みの推進
後継者不足や高齢化を踏まえた団体への支援
時代にあった新たな価値を共有できる催しの開催及び開催支援
だれであっても利用しやすい施設の整備
“みる”ための施設の整備
活動場所の不足や地域格差の解消
施設の複合化・適正配置
ささえる
ささえる
する・ささえる
する
みる
する
する・みる
すべての区民が気軽に文化・スポーツに親しめる環境づくり
ともに、生きる。
江戸川区

８　基本方針と主な取り組み

（１）文化・スポーツを ”する” ”みる” “ささえる”

すべての区民が文化とスポーツに取り組め、鑑賞・観戦し、参画できる環境づくりをすすめていくため、「**する**」「**みる**」「**ささえる**」という３つの側面から施策を展開していきます。

このことによって、それぞれの側面が相互に作用しあい、各施策の効果を最大限に高める好循環が期待されます。



8　基本方針と主な取り組み

（１）文化・スポーツを ”する” ”みる” “ささえる”

① 文化・スポーツを ” する”

文化・スポーツを “**する**” ことは、心身の健康づくりや生きがいづくりに役立つとともに、社会的なつながりも育みます。また、個々の活動の広がりは地域全体にも波及し、地域の活性化にも繋がります。

そのため、文化・スポーツを “する” ための身近な活動場所・展示場所の提供、情報提供・相談機能の充実、イベントの開催、支援制度などについて検討をすすめ取り組んでいきます。
特に、裾野の拡大や実施 “しにくい” 人々への取り組みについては、より強力に推進していきます。

主な取り組み

- ○ 身近な活動場所・展示場所の提供
- ○ 文化・スポーツイベントやワークショップの開催
- ○ ユニバーサルデザインの施設整備
- ○ 東京パラリンピック22競技“できる”宣言！
- ○ だれもが活動を始められ、継続的に活動できる仕組みの構築
- ○ 文化コンシェルジュ・スポーツコンシェルジュの設置および効果的な活用

8　基本方針と主な取り組み

（１）文化・スポーツを “する” “みる” “ささえる”

② 文化・スポーツを ” みる”

文化・スポーツを “**みる**” ことは、感動や興奮を呼び、幸福感を高めます。また、個人レベルの感動が連鎖し、例えば、同一チームを地域で応援する土壌が出来上がれば、新たな地域のアイデンティティを生み出す可能性もあります。

そこで大規模な公演や大会の誘致、一流のアーティストやプロスポーツチームにとっても使いやすい施設の整備などをすすめ、一流の公演やプレイを間近で、リアルに “みる” ことができる環境整備に取り組みます。また、だれもがどこでも文化・スポーツを “みる” ことができるよう、デジタルを活用した取り組みもすすめていきます。

主な取り組み

- ○ 一流アーティストの公演や大規模なスポーツ大会の誘致
- ○ 一流アーティストやプロスポーツチームとの連携強化
- ○ “みる” という目的にあった施設整備
- ○ デジタルを活用した美術館・図書館などの整備

8　基本方針と主な取り組み

（1）文化・スポーツを “する” “みる” “ささえる”

③ 文化・スポーツを ” ささえる”

文化・スポーツを “**ささえる**” ことは、個々人が心の豊かさを育むことに加え、区民の文化活動やスポーツ活動を持続可能なものにし、活力ある地域社会づくりにも繋がっていきます。

そこで文化・スポーツを “ささえる” ため、全区的な文化・スポーツ団体、種別や競技毎の活動団体への継続的な支援を行っていきます。同時に、担い手となる若い世代を育むため、大学や専門学校との連携をすすめ、パラアートやパラスポーツなどの分野をささえる人材の育成にも取り組んでいきます。

また、中学校・高校の部活動を地域のクラブ・団体に移行する取り組みを推進します。専門の指導者から指導を受けることで子どもたちの技術向上にも寄与することができます。

主な取り組み

- ○ 文化芸術協会、スポーツ協会への支援
- ○ 文化・スポーツ団体への継続的な支援
- ○ 大学や専門学校との連携
- ○ 部活動の地域連携・移行の推進
- ○ 指導者・ボランティア講習会の実施

ともに、生きる。江戸川区

８　基本方針と主な取り組み

（２）文化とスポーツの融合をすすめる

文　化　×　**スポーツ**

豊かな人生の活力

文化とスポーツという２つの価値を同時に提供することで、一人ひとりが持つ可能性が広がり、精神面・身体面ともに、より充実することが期待できます。また、異なる価値の受容は多様性を育み、その相乗効果によって新たな価値の創造も見込まれます。さまざまな場面において、文化とスポーツの融合をすすめていきます。

主な取り組み

○ 文化とスポーツが同じ場所で楽しめる場の整備

○ 文化とスポーツが同時に楽しめるイベントやワークショップなどの開催

○ 文化芸術協会、スポーツ協会の相互連携の支援

９　施設整備の考え方

（１）文化･スポーツを する 場所の整備

日常的な “する” 場所として、区民にとって一番身近な施設である地域の学校を活用していきます。学校の体育館や校庭、教室や音楽室などのほか、今後整備される校内温水プールなども、学校教育との共存を図りながら使用機会の拡充を図ります。
また、区民の活動発表や競技会などに活用できる中規模の施設については、地域バランスを考慮しながら、区内に複数箇所、整備していきます。

（２）文化･スポーツを みる 場所の整備

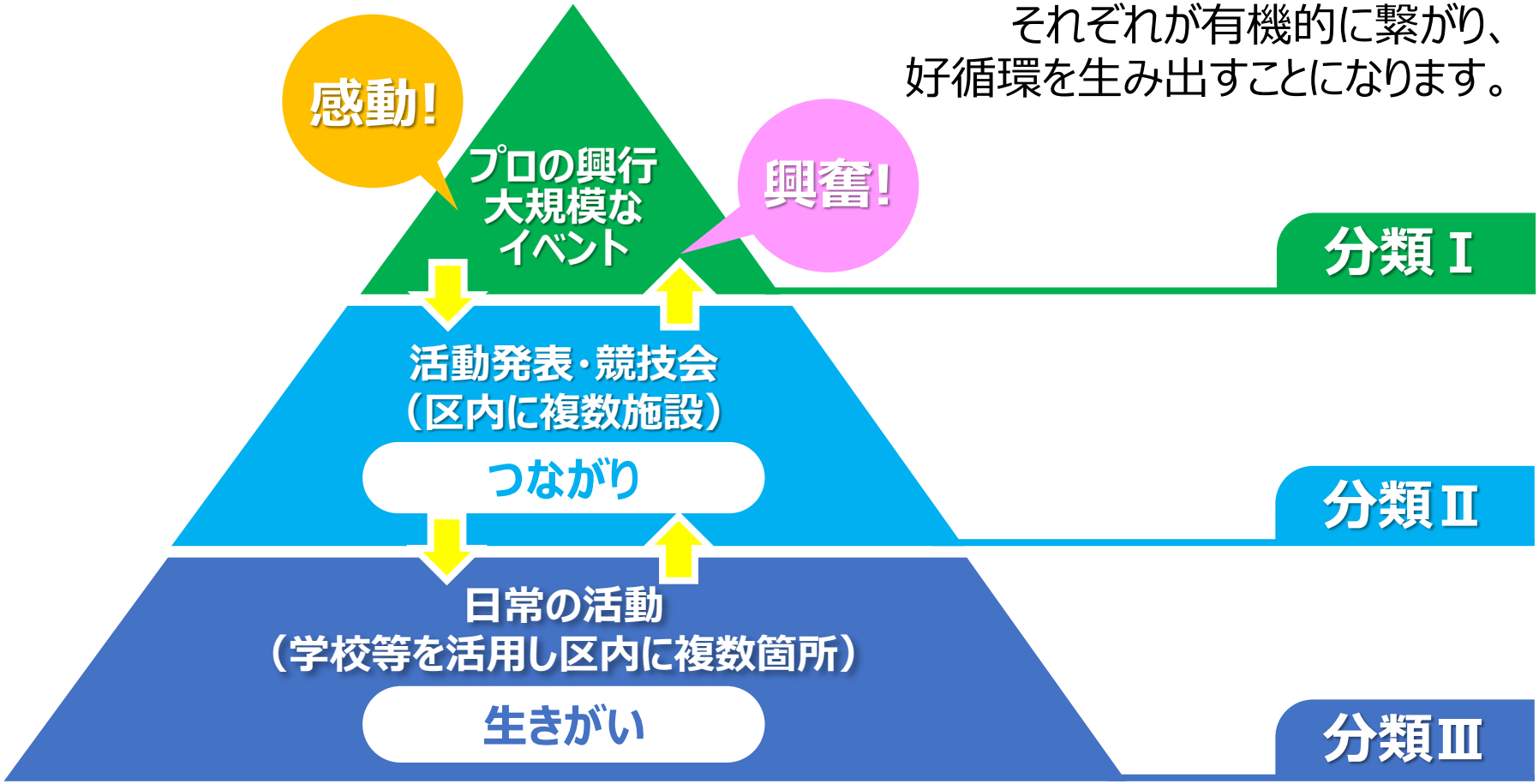
日常ではない、特別な体験を提供できる “みる” 場所を、施設の改修や改築などにより整備していきます。その際には、民間企業との協働やプロチームとのタイアップの可能性なども模索していきます。

（３）持続可能な施設の整備

施設整備にあたっては、周辺の公共施設や民間施設等との複合化を含め、人口減少に合わせた施設数や規模の適正化を図ります。
なお、施設は必要に応じて延命化対策を図りながら、80年程度使用していきます。

９　施設整備の考え方

それぞれが有機的に繋がり、
好循環を生み出すことになります。



文化・スポーツ施設を **目的別に分類Ⅰ～Ⅲごと**に分けて整備していきます。

ともに、生きる。
江戸川区

9　施設整備の考え方

北部　歴史あるまちづくりを活かした施設整備

中部　新庁舎や複合施設に合わせた施設整備

南部　広い土地も活用した文化・スポーツ施設整備

- ◆ 区内を北部・中部・南部に分け、**地域特性を活かした施設整備**を行っていきます。
- ◆ 施設整備にあたっては、**民間投資も模索**していきます。

ともに、生きる。
江戸川区

区北部に必要な機能

分類	機　　能	規模等
Ⅰ	ホール	座席数1,500席程度
Ⅰ	区立図書館統括機能	蔵書数50万冊程度（閉架含む）
Ⅱ	屋内アリーナ	座席数500席程度
Ⅱ	ホール	座席数500席程度
Ⅱ	コミュニティ機能	集会室、和室、音楽室、スポーツルーム等
Ⅱ	図書館機能	図書館合計蔵書数150万冊以上（閉架含む）
Ⅱ	各種屋外スポーツ機能	野球、サッカー、テニス等の屋外スポーツに対応
Ⅲ	学校等を活用した文化・スポーツ拠点	複数箇所への設置を想定

区中部に必要な機能

分類	機　　能	規模等
Ⅰ	コンベンション施設	イベントホール（合計2,000㎡程度の面積） ホール（座席数2,000～2,500席程度）
Ⅰ	アイススケートリンク	年間を通じてスケート利用が可能
Ⅱ	文化複合施設	新しいスタイルの図書館を含む複合施設
Ⅱ	共生型スポーツ複合施設	温水プールや体育館も備えた複合施設
Ⅱ	コミュニティ機能	集会室、和室、音楽室、スポーツルーム等
Ⅱ	図書館機能	図書館合計蔵書数150万冊以上（閉架含む）
Ⅱ	各種屋外スポーツ機能	野球、サッカー、テニス等の屋外スポーツに対応
Ⅲ	学校等を活用した文化・スポーツ拠点	複数箇所への設置を想定

区南部に必要な機能

分類	機　能	規模等
Ⅰ	屋内アリーナ	座席数3,000～5,000席程度
Ⅰ	球技場	座席数15,000席以上
Ⅰ	共生型陸上競技場	第３種公認以上のグレード
Ⅰ	野球場	座席数4,000席以上の都市型球場
Ⅰ	文学館	児童文学の蔵書数14,000冊程度
Ⅱ	ホール	座席数500席程度
Ⅱ	コミュニティ機能	集会室、和室、音楽室、スポーツルーム等
Ⅱ	図書館機能	図書館合計蔵書数150万冊以上（閉架含む）
Ⅱ	各種屋外スポーツ機能	野球、サッカー、テニス等の屋外スポーツに対応
Ⅲ	学校等を活用した文化・スポーツ拠点	複数箇所への設置を想定

ともに、生きる。
江戸川区